

## 多職種ネットワーク（MCS）の利用の実績について

### 1. 目的

区内に居住する在宅療養者等に関わる全ての医療と介護の関係者が、ICTシステム（MCS：メディカルケアステーション）の活用により情報を共有しながら連携して在宅療養者等を支える体制を構築する。

文京区医師会においてICTネットワークの管理・運営を行い、対象関係者の連携を支援している。

### 2. ICTシステムの運用

設置場所：文京区医師会館内

受付時間：月曜日～金曜日までの午前9時から午後4時

窓口従事者：文京区医師会事務局職員

業務内容：MCS登録管理、登録、利用に関する対応管理

MCS地域統計情報：別紙

### 3. 運営委員会

両医師会及び区関係部署委員で構成する運営委員会を設置し、その下に文京区医師会の委員で構成する小委員会設置している。

運営委員会は、令和4年5月11日に文京区医師会館で対面にて行い、昨年度見送られた研修会を開催する旨話し合った。新型コロナウイルス感染症が終息していない状況の中での開催方法・研修内容について検討した。内容については、エンブレース株式会社によるMCSの詳細説明、他医師会での有用な使用事例（特にコロナ禍での利用事例）の発表、また文京区医師会内でMCSを利用して多職種が連携した症例についての報告などを提案した。

### 4. 対象関係者への普及及び啓発

#### (1) 研修、講演会の開催

令和4年10月29日に研修会（Zoomによるオンライン会議）を開催した。

内容は以下の通り。

- ① エンブレース株式会社より各種プラン（フリープランとビジネスプラン）の説明、使用例の報告
- ② 小石川訪問看護ステーション看護師による視線入力装置を使いMCSを介して多職種でのコミュニケーションをとったALS症例の発表
- ③ 東入間医師会 在宅担当理事 安藤聡一郎先生より、地域での多職種連携とMCSの活用につき発表

※医師会、訪問看護ステーション、訪問介護事業所、行政担当等約50名が参加した。

#### (2) 周知・啓発

文京区医師会ホームページに多職種ネットワークのページを設置して情報提供を行った。